

日本ミュージアム・マネジメント学会

コミュニケーション・マネジメント研究部会平成 28 年度第 2 回研究会

平成 28 年度第 1 回研究会は、「多様化するニーズに即応するミュージアムの可能性 I ～ミュージアム側の現状と課題、そして変革～」のテーマで開催した。

構成は、博物館側のケーススタディーを行った上で、利用者側の見地から各種のコメントを提起してもらい、「多様化するニーズに即応するミュージアムの可能性」について、特に、ミュージアム側の変革を目指した議論を展開した。

そこで、第 2 回目は、ミュージアムの利用者側の課題を洗い出し、利用者がミュージアムといかに関連を持って行くか、さらには、ミュージアムを利活用していくにはどういったことが必要か、そして、その結果、何を創出することができるか等について議論する場とする。

◇ 日 時：平成 29 年 3 月 4 日（土） 13 時 00 分～16 時 45 分（受付 12 時 30 分～）

◇ 場 所：科学技術館 第 1 会議室

◇ テーマ：「多様化するニーズに即応するミュージアムの可能性 II
～ミュージアム利用者側の現状と課題、そして変革～」

◇ プログラム：

- (1) 研究部会趣旨説明：13 時 00 分～13 時 15 分
新 和宏（研究部会長 千葉県立中央博物館 分館 海の博物館長）
- (2) ケーススタディー 1：13 時 15 分～14 時 00 分
「大学と地域博物館—旧小川原湖民俗博物館の事例を中心に—」
小島 孝夫氏（成城大学教授）
- (3) ケーススタディー 2：14 時 00 分～14 時 45 分
「公民館ならではの“体験づくり”をめざして」
鈴木 陽子氏（船橋市丸山公民館非常勤職員事業担当）
- (休 憩) 14 時 45 分～15 時 00 分
- (4) パネルディスカッション：15 時 00 分～16 時 45 分
コーディネーター：新和宏
パネラー：上記ゲスト等

◇ 申込・問合せ

日本ミュージアム・マネジメント学会事務局
〒135-0091 東京都港区台場 2-3-4 (株)乃村工藝社 文化環境事業本部
電話・ファックス 03-3521-2932 メールアドレス kanri@jmma-net.org
または、下記ホームページからお申込み下さい
<http://ssl.edinc.net/research/>

